

【リレートーク】

● 鳥居玄根さん

(安城市町内会長連絡協議会会長、安城市自治基本条例策定審議会会長)



町内会長連絡協議会会長という立場ですが、これは安城市には79の町内会があって、その所属する小学校区単位で21名の理事を選出してもらい、町内会長連絡協議会の理事会を組織し、行政と町内会との連携を図っており、私はその会長を務めています。

先ほど申し上げたとおり安城市には79の町内会があり、40の町内会が事務所を独自に持ち、様々な地域活動を行っています。

最近困っていることは、町内会活動に関心を持たない人が増えてきていることです。現在、市全体で73.8%まで加入率が下がっています。何もないとこれでもいいのかもしれませんが、自治基本条例を作ってこれからまちづくりを進めようというときに、或いは、災害でも遭ったときに本当にこれでよいのか大変心配です。

この条例の中で町内会、NPO、ボランティア団体をコミュニティとして定義し、位置付けているように、最近は特定の目的を持った、特定の地域に限った団体がたくさんあります。それぞれ行政との関わりを持っていると思いますが、そういう団体と我々町内会が連携できれば、もっといろいろなことを引き受けることができると考えています。

我々の安城市が、安全で安心な18万都市として、さらに発展していくことを期待しています。

● 神谷由美子さん

(NPO法人おやこでのびっこ安城理事長、安城市自治基本条例策定審議会委員)



私たちは子どもが豊かに育つことを目的に活動している団体ですが、全国の仲間と、子どもの権利条例の策定に携わっている者が多くいます。辻山先生が関わってみえます川崎市は、子どもの権利条例では先進的なまちで、条例の策定から子どもが関わり、条例を活かしていく活動も盛んに行われています。

条例を策定する場合には、作るまでの過程と作った後にどう活かすかが大切です。安城市自治基本条例は、あんき会の

皆さんのおかげで市民が携わって策定できたものと思います。また、審議会には専門家の方が必要だということで、名城大学の昇先生と愛知大学の入江先生が委員に加わってくだ

平成22年3月6日(土)

自治基本条例施行記念フォーラム『知って みんなで動かそう!まちのルール』記録

さり、自治基本条例の基本的なことや、話し合いが難しい局面になったときに方向性を示していただきとても有難い存在でした。

私たちのNPOは、18歳までの子どもの悩みを聞く「チャイルドライン」という活動や、未就園児を持つ親が気楽に子育てできる広場を開設しています。まちづくりという言葉は定義が難しいものだと思っていましたが、この条例の第3条で「市民が幸せに暮らし続けられるまちにしていくための活動や事業」と定義されています。このような活動には多くの方が取り組んでいます。行政は、まさに毎日、市民が幸せに暮らすために活動していると思います。行政以外にもこうした活動をしているところがたくさんあり、市内には災害に強いまちづくりを目指して活動するNPO、ニートや引きこもりなど若者の自立支援を通してまちづくりを行うNPOや環境をテーマに活動しているNPOもあります。ただ、NPOはまだ認知度が低いため、今後支援が得られるように自分たちも努力していかなければならないと思っています。

今日のレジュメにありますプロフィールの私と行政との関係のところ「第7次安城市総合計画教育文化部会委員」とありますが、これが初めて私が行政の会議に参加させていただいたものです。このあたりから、行政が市民を交えていろいろな市の計画を考えていただけようになったのかなと思っています。システムとしては、会議の中に市民や市民団体の代表を入れていただけることが6~7年前から行われていると思います。この安城市自治基本条例ができたことをきっかけにさらに市民と行政が手を取り合ってより良いまちにしていければと思っています。

NPOはフットワークが軽いとか、やりたいと思ったことをすぐに実行できるという良い点があります。ただ、信用という面でまだ足りないところがありますので、行政の力を借りながら安城市の子どもたちや大人が幸せに暮らせるように努力したいと思っています。

NPOは同じテーマに関心を持つ市民を集めて行動できる場所だと思いますので、市民が行動する核として役割を担っていきたいと思っています。

● 小島祥次さん

(安城まちづくり市民会議まちづくり委員会委員長)



私は御幸商店街の理事長もやっておりますので、商店街、まちなかに視点を置いてお話ししたいと思います。今は商店街で商売をやっていますが、元々は西尾市の出身です。安城市の印象は、新しい人を迎え入れてくれるまちだと感じています。古くから住んでいる方はまた違った印象かもしれませんが、私はそう感じています。考えてみれば東海道線の駅ができて、まちができたということで歴史が新しく、商店街の中には重鎮の方もみ

えますが、その人たちも2代目、3代目なので、そういう土壌があるのだと思います。実際、先ほどの辻山先生のお話しにもありました自発性の部分で言うと、すごく自発性のあ

平成22年3月6日（土）

自治基本条例施行記念フォーラム『知って みんなで動かそう！まちのルール』記録

るまちだと思っています。例えば、まちなかで「サンクスフェスティバル」というお祭りや「南吉かふえ」の開催、また毎週金曜日に防犯パトロールを商店街と町内会との協働で行っていますが、一人の人が面白そうだからやってみようというのがきっかけで始まって、今でも続いているイベントが結構あります。また、電柱に看板や紙が貼ってあると勝手に剥がしてはいけないそうですが、商店街の人は、それを悪いものと判断すると勝手に剥がしてしまいます。良いことだから自発的にやろうという風土があるからだと思います。ただ、思いの強い人の行動で始まって、それに賛同する人がいる。でも全員が賛同するためには、ロジックな部分が必要で、そういう意味で自治基本条例は非常に意義のあることだと思います。

まちなかは、駅があり、人が集まり、店や機能が集まる場所ですので、そのために様々な問題を抱えています。まちなかこそルールを必要としているところだと思います。例えば、他の市では駅前が全面禁煙になっていたり、壁の色を統一するための縛りを設けたりしているところがあります。まちなかでは性風俗の店が増えていて、裏返せば安城が発展していて、金になるということでもあります。なかなか歯止めが難しく、まちなかのルールが必要だと思っていますので、この自治基本条例がきっかけとなって、まちづくりの基本指針が明確になることを期待します。

● のだゆきさん

（キャッチ・ピッチFMパーソナリティ）



私はキャッチ・ピッチFMでパーソナリティをしていますが、他にプロデューサーや音声さんなどがそれぞれの役割を持ち、話し合い、コミュニケーションをとりながら一つの番組を作っています。そこで私が感じていることは、思っていることは言葉に出さないと伝わりません。男性の方で、奥さんや恋人に「愛してるよ」と毎日言っている方はどれくらいいらっしゃるでしょうか。今日、家に帰ったら

奥さんに「愛してるよ」と言ってみてください。おかげで一品増えるかもしれません。

建設的な言葉には、私たちの想像を超える何かを生み出す力があって、日々私も言葉に携わっていますので、そういう不思議な体験をすることがあります。正直、いろいろな方と関わっていくので面倒くさいと思うこともあります。いやな思いをすることもあります。ですが、喜びもその分だけ多くなると思います。そして、周りの方たちがいて、私が活かされていると思います。放っておくと弱っていくタイプで、条例も一緒だと思います。いろいろな人がそれぞれの立場から考えて言葉にしないと忘れられてしまいます。

このフォーラムのお話をいただいたときに、安城市自治基本条例ってどんなことが書いてあるのかなと思い、市のホームページ、それから市の職員の方からいただいた資料を読みました。ホームページには「安城市では、まちづくりの担い手である市民、議会、行政が、まちづくりに関する情報を互いに共有し、市民参加と協働によるまちづくり

平成22年3月6日（土）

自治基本条例施行記念フォーラム『知って みんなで動かそう！まちのルール』記録

進めるための基本ルールを定めることが必要と考え、『条例』という形で明文化したものが、『安城市自治基本条例』です。」とありました。そして、事前にいただいた資料では「おとなも子どもも誰もが幸せに暮らし続けられるまちを創造し、未来へバトンタッチしていきたい。そのためには、私たち一人ひとりが、自ら考え行動する自立した市民として、また、まちづくりの担い手として、助け合いながら協働することが必要です。私たちは市民が主役の自治の実現を目指し、条例を制定します。」とありました。

条例を読んでみますと、なにせ漢字が多いですから私も難しいなと思いましたが、数日前に新聞に掲載されたあんき会の金原さんの言葉が、見事に一言で表現されていました。それは「自分で頑張る」という言葉でした。そしてあんき会の皆さんのように行政と私たち市民との間に立ってくれる人が必要だった訳です。

今日のフォーラムのテーマは「知って みんなで動かそう まちのルール」ですが、まちのルールである条例を動かすのは、人の言葉だと思います。全ての始まりは人との繋がりに関わりだと思います。2年後、3年後には、市長を始めとする行政と議会の皆さん、そして市民が、安城のまちの自慢を誰にでも自信を持って言えることを目指して、言葉、繋がり、関わりをどんどん濃くして行って個性的な、温かい条例に発展していくと面白いなと思います。